

# 第3回やまがた「水辺の四季」写真コンテスト 入賞作品写真展 開催報告

美しい山形・最上川フォーラムでは、山形県の母なる川「最上川」をシンボルに掲げ、様々な主体と連携し、次世代に誇れる「美しく元気な山形づくり」に取り組んでおります。

その一環として写真コンテストを27年度まで8回開催してきましたが、28年度はテーマを「身近な水辺と人々のいとなみ」とし、第3回やまがた「水辺の四季」写真コンテストを実施しました。

平成28年8月中旬から平成29年1月20日にかけて県内外から作品を募集し、多数のご応募をいただきました。1月27日に審査会を開催し、応募総数200点より、入賞作品17点を決定いたしました。

また、平成29年3月4日(土)から9日(木)まで、山形県郷土館「文翔館」ギャラリー6・7において入賞作品を展示した写真展を開催し、約380名の方々にご来場いただき、好評のうちに4日間(3月6日(月)は休館)の日程を終了しました。写真展開催にあわせ3月4日午前中に、ギャラリー6において開催した表彰式には、9名の受賞者の方々を含め、16人のみなさまにご出席いただきました。

入賞作品はホームページへ掲載もしております。

## ◆写真展の様子





◆表彰式の様子



## 第3回やまがた「水辺の四季」写真コンテスト

### 【 概要 】

#### ○テーマ

「身近な水辺と人々のいとなみ」

山形県のシンボルである「最上川」をはじめとする水辺周辺の自然の美しさやそこにある人々の姿を捉えた作品を募集

#### ○応募状況

応募者総数 84 名・応募写真総数 200 点

(内訳) 一般の部 応募者数 77 名・応募写真数 191 点

高校生以下の部 応募者数 7 名・応募写真数 9 点

#### ○入賞作品

- ・最優秀賞 1 点
- ・優秀賞 3 点
- ・奨励賞 4 点
- ・佳作 6 点
- ・高校生以下の部入選 3 点

#### ○審査員

- ・阿部直美氏 (山形県写真連名会長)
- ・前川孝子氏 (フリーアナウンサー)
- ・本間義衛氏 (美しい山形・最上川フォーラム最上川文化・地域経済活性化部会長)

#### ○審査講評

「身近な水辺と人々のいとなみ」をテーマとした第3回やまがた「水辺の四季」写真コンテストには、一般の部が県内外の写真愛好家77人から191点、高校生以下の部では7人から9点の応募がありました。応募作品は山形県のシンボルである最上川をはじめとする水辺周辺の自然の美しさや民俗行事、漁業や農作業、風景、人物等多岐にわたったもので見応えのあるコンテストでした。

審査は、1月27日に3人の審査員の合評により行ない入賞作品を決定いたしました。入賞された皆さんには心からお祝い申し上げます。

四季の美しさに囲まれ、自然の潤いにあふれた私たちの暮らしは、水との関わりを避けて通れません。水の文化、民俗行事、そして“ムラ”の原風景が今も残されています。それらを後世に伝えるためにも、皆さんの豊かな感性で被写体を探求し、感動する写真を撮っていただき、次回にも挑戦していただくことを期待します。

山形県写真連盟 会長 阿部直美 氏